

奈良県立郡山高等学校 中期計画

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命（スクール・ミッション）		長い伝統の中で培われた文武両道の精神を基礎に、社会に有為な人材を育成する。
教育方針 （スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 集団の中において自らの役割を理解し、自ら考え積極的に貢献しようとする生徒 2 基礎的学力を身につけた上で、課題を解決できる力を伸ばそうとする意欲のある生徒 3 部活動や学校行事などに参加し、自らの人間力を高めようとする生徒 4 自他尊重の精神を持ち、人を大切にしようとする意識が高い生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	本校では、新しい時代を切り開くための資質・能力を育成するために、確かな知識理解力や思考力を身につけ自ら考えることのできる確かな学力と豊かな心情や健やかな身体を育成することを目指し、以下の方針を示します。 1 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく培い、進路実現につなげることに注力する。 2 新しく構築した総合的な探究の時間を軸に、各教科に渡り応用力を磨く。 3 学校行事や地域活動への参加を活発にし、集団としての行動力やコミュニケーション力を身につける。 4 部活動を通して人間力を高める活動を大切にします。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 卒業後も向上心を絶やさずことなく、自ら学び続けることができる。 2 自分を大切にし、人を思いやり、集団の構成員としての役割を果たそうとする心情を確固とする。 3 新しい時代を切り開こうとする気概を持ち、有為な人材として社会に積極的に参加しようとする意思を持つ。

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等【R6改訂】
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基本的生活習慣の確認	挨拶自己達成率90%以上
	部活動の充実	1・2年生3学期の加入率90%以上かつ 入部者の満足度80%以上
	学校行事に関わる意欲向上	実態調査で「意欲的に取り組めた」とする生徒90%以上
	基礎体力の向上	体力テスト2、3年平均Tスコア50以上
	読書意欲の向上	生徒実態調査、ピリオバトル後アンケート75%以上
	基本的生活習慣の確認	美化活動への積極性を育む。実態調査で、「清掃にすすんで取り組んでいる」と答えた生徒の割合が、55%以上。
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	学習意欲の向上	授業アンケート質問項目「学ぶことへの意欲が高まる。」回答スコア3.5以上
	学習意欲の向上	それぞれの行事についてアンケート満足度90%以上を目標とする。
	探究的取組に向けての授業改善	授業アンケート質問項目「生徒の主体的な活動ができる。」回答スコア3.5以上
	ICTを活用した教育活動	全教員がICT機器を活用した授業を60%以上実施している。
	進学率の向上	現役生徒の大学進学率90%以上を目標とする。
	探究活動資料の充実	探究活動資料の図書館での利用率が前年度比増
	学校における働き方改革	学期に3回の定時退庁日を設定
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリア教育の充実	アンケート満足度95%以上を目標とする。
	アカデミックインターンシップへの参加	参加生徒数の前年度比増
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	「奈良タイム」の効果的活用	プレゼンテーション後のアンケート 満足度90%以上
	地域行事への参加	参加生徒数の前年度比増
	学校運営協議会の効果的運営	学校運営協議会の開催 年2回以上
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	学校と家庭・地域をつなぐ情報発信の向上	情報発信の方法の強化と、発信する内容の充実
	人権教育学習の充実	HRにおける時間数の確保、人権HRに取り組む姿勢の自己評価が5段階で4以上の生徒が80%以上
	特別な支援や配慮を要する生徒への対応力強化	SCとの連携強化や個別の支援計画などの作成
	グローバルな視点・経験の育成	本校海外研修（短期留学）参加者アンケート満足度85%以上
	生徒の学習環境を整える	予定されている工事において、生徒学習環境への影響をなるべく少なくし工事が工期どおりに進むよう調整を行う。